

中里小学校だより

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成
～中里仲良し（共に学び、共に育つ）～

令和4年5月31日

第4号

文責 松尾美智子

6月は、「いのちを見つめる強調月間」です

「自分の命を大切に作る心」「相手の気持ちや立場を考える思いやりの心」「あこがれや志」の豊かな心の育成を目指して、この期間に、学校公開（道徳の授業を公開）、学校支援会議、平和集会等を実施します。

子ども達には、「いのち」について考え、自分の心を見つめる機会としてほしいと考えています。ぜひ、ご家庭でも「いのち」について一緒に話していただければと思います。

右の写真は、地域の方に見守られながら集団登校する子ども達の様子です。保護者の方だけでなく、地域の方にも、学校に来ていただいて、学校での子ども達の様子を見て、声をかけていただければと思います。

子ども達にとって安心・安全な学校づくりを、保護者や地域の方々と一緒に協力しながら、進めてまいります。



水筒の中身について

熱中症が心配される季節となりました。保護者の方からも、水筒の中身についてご質問がありました。本校としては、次のように考えています。



1 原則的に「お茶・水」でお願いします。

2 保護者が、お子様の体調やその日の気温や運動量から考えて、熱中症防止等のためスポーツ飲料が適切と判断された場合、「スポーツ飲料水」を利用してください。

3 その他の飲み物については、衛生面や安全面から様々な危険性が考えられますので、控えてください。

※経口補水液について

経口補水液は、吸収が早く、熱中症等の症状が出ている際の水分補給に使われます。本校の保健室にも、常備しており、症状がある場合は、それを飲ませています。

※スポーツ飲料水について

糖分が入っているスポーツ飲料水があり、糖分をとりすぎると体調を壊すことがあります。また、長期にわたって甘い飲料水をとると、お茶や水を飲みたがらなくなる場合があります。

スクールカウンセラー 石川先生からのメッセージ



「スクールカウンセラーのお仕事って何なのでしょう？」

困っていること、悩みを聞くことがスクールカウンセラーの仕事でしょうか。

実は、その人の問題を解決に向けるためのサポートをするために、一緒に考える人のことです。

カウンセラーは学校にも家庭にも常にいることはありません。ですから、いない間でも解決に向かえるようなサポートをしていきます。カウンセラーという仕事の目標は、一人ひとりが自分の問題を解決できるよう自立させることです。お互い同士が支え合えるようになることでもあります。子どもだけでなく、保護者の方からの相談も受け付けています。一緒に考えていきたいと思います。どうぞお気軽に話に来てください。また、困りごとだけでなく、自分の性格や適性などを知るお手伝いもしています。気軽に会いに来てくださいね。

<参考>マスクの着用について、文部科学省からリーフレットが出されました。（裏面）

子どものマスク着用について



人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合
においては、マスクを着用する必要はありません。
また、就学前のお子さんについては、
マスク着用を一律には求めています。



就学児について

（小学校から高校段階）

マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
- ・人との距離が確保できなくても、
会話をほとんど行わないような場合

＜例＞離れて行う運動や移動、

鬼ごっこなど密にならない外遊び

＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写実活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、
会話をほとんど行わないような場合

＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習



学校生活

屋外の運動場に限らず、

プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の

就学前児について

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めています。
マスクを着用する場合は、保護者や周りの
大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



気をつける
ポイント

▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、
マスクを外すことを推奨します。

▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、
「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。

